

名前 _____

理科**基本メニュー（☆☆）…必ずやりましょう。**

	チェック
① 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
② 宿題用テキストの基本問題A	
③ 宿題用テキストの基本問題B	
④ 宿題用テキストの復習問題	
⑤ 週テスト復習用を解く。	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A	

発展メニュー（☆）…他の教科の宿題が終わって、さらに余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題B	

担当より一言

今回は、季節と天気について学習しました。

今回の内容が取り組みにくいと感じる人は、もののあたためり方の単元を復習してからのぞむと効果的です。

まず高気圧と低気圧。ここが今回考え方としては一番難しいと思いますが、天気の変化を考えるうえで最も根本的な原理です。温度のちがいがどのような空気の流れを起こすのか、筋道が追えるようにしましょう。

海風・陸風から季節風まで、この原理で理解することができますし、高気圧では天気がよく、低気圧では悪くなる理由もわかるでしょう。

季節と天気については、各季節の衛星写真の特徴をおさえて、どれがどの季節のものであるのか判別できるようになりましょう。

梅雨は日本列島に梅雨前線がかかっている、夏は高気圧におおわれていてあまり雲がかかっている、冬は西高東低の気圧配置ですじ状の雲がかかっていることが特徴です。

春と秋については、台風があれば秋と判断してください。

フェーン現象の計算問題は、スタート地点、雲のでき始め、山頂、ゴール地点と順番に気温をたどっていけば、そこまで苦勞をせずに答えにたどり着けるはずです。